

2008年10月21日

2008年自転車リユース報告書

環境三四郎

1. 昨年までの経緯

本郷キャンパスでは毎年 1,000 台近くの自転車が放置され、廃棄されてきた。このような放置自転車を減らすこと、廃棄される自転車をリユースすることを目的に環境三四郎は 2006 年夏から活動をはじめた。大学の担当部局や他大学への聞き取りを行い、自転車リユース市、レンタル自転車などについて検討、提案した。そして、2007 年は、農学部で放置され、かつ駐輪登録の際に連絡先を大学が控えていた自転車について、所有者に連絡をとり放棄の意思が確認できたものを希望者に譲渡した。

2. 2008 年企画概要

不要となり放置されている自転車を譲渡するのが前年の方法であったが、今年 4 月に行った配布手続きでは、まず放置される自転車の数を減らすため、卒業等で不要になる自転車を募り、希望者に譲渡する方法を新たにはじめた。また、2007 年 4 月より全学的な駐輪登録がはじまっており、2008 年春に放置された自転車はこの駐輪登録が行われていたため、所有者の連絡先がわかるものが多かった。よって 7 月に行った配布手続きでは、より大規模に不要自転車の譲渡を行うことができた。

	2007 年実施	2008 年 4 月実施	2008 年 7 月実施
配布した自転車	廃棄対象の自転車のうち、前年の農学部の駐輪登録がされていて、所有者に連絡をとって放棄の意思確認ができた自転車	所有者が不要自転車として、一時保管場所にもってきた自転車	本郷キャンパスの廃棄対象の自転車のうち、前年の全学駐輪登録がされていて、所有者に連絡を取って放棄の意思が確認できた自転車
配布対象の台数	6	14	30
実際に配布した台数	6	12	22
配布方法	-	学生生活チームに問い合わせしてきた学生のうち先着順	事前に応募した 106 名の中から抽選で 30 名を選び、当日、順番に自転車を選んでもらった
担当していただいた大学部局	学生支援グループ 学生生活チーム	学生支援グループ 学生生活チーム	環境グループ 交通管理チーム

### 3. 日程、大学との話し合いの内容

2008.01.11,24 学生生活チームと今年の自転車回収・譲渡について打ち合わせ

- ・今年の自転車のリユースを積極的に行いたい(学生生活チーム)
- ・ほしい人に公平に渡せる方法を考える(環境三四郎)
- ・自転車の回収方法について複数提案

2008.02.12 学生生活チームに不要自転車募集のポスター案等を提出

2008.02.28 ポスター掲示開始、第二食堂横一時保管場所に回収看板設置、保管自転車盗難防止用のチェーンを受け取る

2008.03.12 研究室等に告知するメール案を学生生活チームに提出

2008.04.01 回収自転車累計 11 台

2008.04.15 学生生活チームと配布方法等について相談

- ・回収した自転車がほしいという問い合わせが多いので、5月の自転車撤去分を待たずに、今ある分は配布する(学生生活チーム)
- ・5月の放置自転車撤去を今年から担当する部局と相談させてほしい(環境三四郎)
- ・来年以降の自転車登録制度について
- ・所有者に連絡がとれない自転車も配布に回せないか?(環境三四郎)

2008.04.23 自転車配布 回収 14 台中 11 台

2008.05.01 放置自転車等の一斉撤去・処分告知期間 (～5月16日)

2008.06.12 環境グループと打ち合わせ

- ・来年度からは自転車の再利用も本部が実施する予定
- ・今年度は環境三四郎が中心にリユースをすすめる

2008.07.10 環境グループと打ち合わせ ポスター案、実施計画詳細提出

- ・リユース実施方法を環境三四郎が複数提案し、決定
- ・今年度は所有者と連絡がとれない自転車は廃棄する(環境グループ)

2008.07.16 ポスター掲示開始

2008.07.22 自転車希望者応募締切

2008.07.25 自転車リユース実施(配布)

### 4. 4月23日実施自転車回収/配布

#### (1)企画概要

不要になった自転車の持ち帰りおよび譲渡を呼びかけ、第二食堂横を不要自転車一時保管場所として、不要となった自転車を回収した。この自転車回収および配布は前年と同様、学生生活チームに協力していただいて実施した。回収した自転車 14 台のうち 11 台を、学生生活チームに問い合わせしてきた希望者に配布した。

## (2)自転車の譲渡および回収の呼びかけ

前年の自転車撤去の告知書、ポスターを参考に自転車の回収および譲渡を呼びかけるポスター(参考資料 1)を作成し、一般学生掲示板の他、各学部学科事務に掲示した。加えて、各学部の事務を通して各研究室にメールを回してもらおう予定であったが、担当していた学生生活チームの多忙により実現しなかった。

なお、回収した自転車を配布する旨はどこにも記載せず、回収状況のみを別途広報する予定であったが、自転車を譲渡してほしいという問い合わせが多数学生生活チームに寄せられたため、問い合わせた学生の中から先着順で希望者を選んだ。

## (3)自転車の回収

自転車を配布するためには、所有放棄の意思を明示してもらわなければならないが、自転車が不要となったことを電話等で連絡させるのでは所有者に負担を強いることになる。そこで、不要自転車一時保管場所を設け、不要となった自転車を所有者自身にもってきてもらう方法をとった。一時保管場所は構内に何カ所かあるのが望ましいが、初年度ということもあり管理の都合上、第二食堂横の普段利用されていない駐輪場所1ヶ所のみとした。保管場所には看板(参考資料 2)を設置し、不要な自転車以外を置かないように明示した。また、保管自転車が盗難にあわないように随時チェーンをつけた。

## (4)配布/手続き

日時：2008年4月23日(木) 12時30分～13時

場所：第二食堂横自転車一時保管場所

回収された自転車は、14台と少数であったので、学生生活チームへ問い合わせをしてきた学生に、学生生活チームを通じて、配布日時・方法を連絡した。12時30分より不要自転車保管場所(第二食堂横)にて、連絡を取っていた希望者に先着順で選んでもらい、14台中11台(後日追加で1台)を配布した。配布した自転車はすぐに、生協で防犯登録をもらった。

自転車が選ばれる基準としては、以下の順番のようであった。

1. パンクしていない
2. 見た目がきれい(シール等が貼られていない、全体的にさびていない等)
3. ブレーキが緩んでいない
4. 動力系(チェーン、ギア等)がさびていない

なお、パンクやかなりの錆があるなど、修繕が必要な自転車でも希望する人がいたが、配布されずに残った2台は、タイヤがないなど、修理が容易ではない自転車であった。

## (5)今後の課題

- ・ 広報により自転車の放置禁止を呼びかけたが、効果はわかりにくい。不要な自転車は14

台集まったものの、自主的に自転車を持ち帰った人、または研究室内等で譲渡した人がどの程度いたのか不明である。

- ・事前の広報に力を入れれば、回収される自転車台数も増えると思われる。
- ・先着順で配布すると、場所の広さと人数によって混雑しやすいため、台数が増えた場合にも混乱しない配布方法が必要である。

## 5. 7月実施自転車リユース

### (1)企画概要

放置自転車として廃棄予定の自転車のうち、前年度の駐輪登録が行われており(364 台)、かつ所有者に連絡がとれ(183 台)、不要の意思が確認できた自転車(33 台)について、希望者を募り、自転車の配布を行った。2008 年 4 月から放置自転車撤去の大学の担当部局が環境グループにかわったため、環境グループと協力して実施した。

### (2)自転車希望者の募集

配布できる自転車の数が限られていたので、広報手段は一般掲示板および各学部学科掲示板へのポスター(参考資料 3)の掲示のみとした。希望者は名前と所属、連絡先を記載の上、メールで応募してもらった。夏休み前に配布を完了させるため、ポスター掲示から応募締切までは実質 5 日間程度であったが、106 名から希望の連絡があった(締切後にも数人から連絡があった)。配布できる自転車が 30 台しかなかったため、ランダムに順番をつけて 30 名を選び、自転車リユース当日に来てもらった。

### (3)配布方法

主に以下の 3 案を検討し、最終的に(3)の方法をとった。詳細は以下のとおりである。

	再利用される、良い状態の自転車の数	実施側の労力	利用者の満足
(1) 1 箇所に集めて先着順	多い：希望者が多ければ状態の良くない自転車も再利用される。	低い：選んでもらった自転車の手続きのみでよい。	低い：時間の合わなかった人に不公平感が出る。会場が混乱する。
(2) 希望自転車ごとの抽選	少ない：抽選対象自転車は高品質が求められるので、状態の悪い自転車は余る。	高い：抽選、引き渡しの手間がある。	高い：自分の好きな自転車が選べる。会場の混乱がない。
(3) 抽選で時間指定、先着順	やや多い：多少難あり自転車も希望したら譲渡可能。	中程度：集合時間の抽選作業がある。	やや高い：ある程度の時間自転車をじっくり選べる。

- ・抽選で時間指定、先着順

自転車希望者に対し抽選で1から自転車台数分の順を決め、抽選番号の若い順から、ある一定時間区切りの中で10人から20人ずつ来てもらい、時間区切り内では先着順で選んでもらう。

#### (4)自転車リユース(配布)当日

日時：2008年7月25日(金) 12時～13時

場所：七徳堂裏

流れ：

11:45 環境三四郎、職員集合。簡単な修理。自転車に番号付け

12時頃受付開始。各自自転車を見て回る。

12:20 抽選番号1～10番の人、配布手続き開始。

12:30 抽選番号11～20番の人、配布手続き開始。

12:40 抽選番号21～30番の人、配布手続き開始。

13時過ぎ、最後の人に受け渡し終了。撤収。

受付等は環境三四郎で行い、譲渡書の交付は環境グループの職員に行っていた。自転車を受け取った人はその後、生協で防犯登録の手続きを行い、交通管理チームで大学の駐輪登録を行ってもらった。

当選した人は30人であったが、当日来た人は26人、うち希望する自転車がなくなつたため権利放棄した人は4人であったので、結果として22人が自転車を受け取ったことになる。

#### (5)今後の課題

- ・応募者が予想外に多かった。これはポスターにQRコードを掲載したことが大きかったと考えられる。実際、106名の応募者のうち、半数を超える62名が携帯電話からの応募であった。
- ・一次返信は応募者の漏れを防ぐために行ったが、必ずしも必要ないと感じた。
- ・今回は自転車の数が30台程度であったが、同じ方法を採用する場合、これが何倍にもなるとメールの対応もそれだけ煩雑になる。いかにもっと効率的な方法にできるかということが課題として挙げられる。
- ・留学生向けに英語での広報、メール対応ができればよかった。

#### 6. 今後の放置自転車への対策について

今年5月、構内に放置されていた自転車のうち、駐輪登録されていた自転車は364台であった。2008年度の登録用紙には、一定期間自転車を放置した場合には処分を大学側にゆだねる旨が記載されている。また、登録者の連絡先も把握できている。したがって、仮に

来年も同程度の数の自転車が放置されるとすれば、400台近い自転車がリユースにまわる可能性がある。その場合、今年7月と同様の場所・期間・時間帯で自転車の配布を行うのは困難となるだろう。より広い会場の確保、複数日に分けての開催、学部ごとに分けての開催、配布方法の変更などのいずれかを行う必要が出てくると考えられる。

開催時期は本郷への進学生・新入生を主な対象とするのであれば5月ごろまでを目処としたい。また、今年の応募者の中に留学生も数多く含まれたことから、英語版を作成するなどして、留学生に不利にならないような配慮も必要となるかもしれない。

さらに、来年度より自転車駐輪の有料化が検討されていることによる状況の変化も考慮しなくてはならないだろう。というのも、有料化によって登録の敷居は高くなることで未登録自転車が增加することが懸念され、その結果配布に回せず処分される自転車の数が増加し、少なくとも短期的に見れば自転車リユースの実績に大きな影響を与えると考えられるためである。

また、今年度は環境三四郎が主体となってリユースを行ったが、作業の簡便化・マニュアル化等によって他の主体にも放置自転車の配布が可能にするべきだろう。さらに長期的な視点に立てば、学生や教職員の中で自律的に自転車の譲渡・リユースが行われるような土壌が形成されることが、本プロジェクトの目指すべきところであることを忘れてはならない。そのための活動を今後も続けて行きたい。

#### 環境三四郎

小川 和孝 (教育学部)

小川 拓哉 (農学生命科学研究科)

越智 真奈美 (医学部)

武部 芳弘 (工学部)

椿 晴香 (理学部)

宮森 映理子 (農学生命科学研究科)

脇本有希 (新領域創成科学研究科)

参考資料1 4月自転車回収時のポスター



**放置しないで!**

年間処分数：約1000台!

キャンパス内で不要になった自転車は、**持ち帰るか知人に譲渡\***してください。  
譲渡先が見つからない場合には、第二食堂横の専用スペース(地図参照)もってきてください。

\* 譲渡の仕方  
知人に譲渡する場合は、生協第二購買で防犯登録の再登録(500円)をしてください。

連絡先  
学生支援グループ学生生活チーム  
03-5841-1205 内線 21205  
gakuseiseikatsu@ml.adm.u-tokyo.ac.jp  
場所: 御殿下記念館モール階



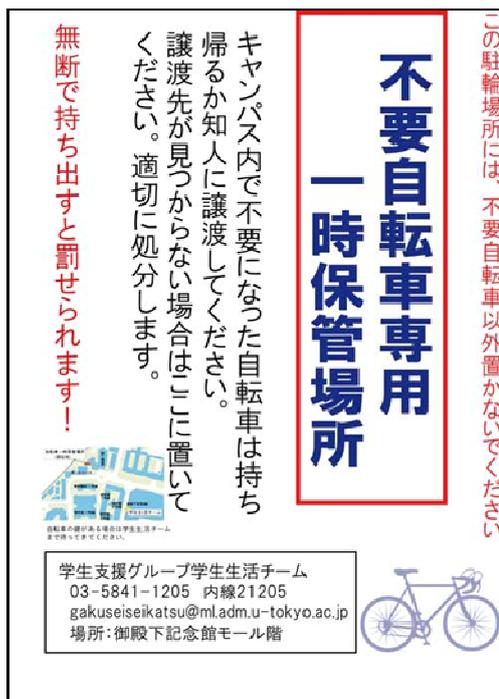
**卒業されるみなさまへ**

自転車は**持ち帰り**ましょう。持ち帰れない場合には**放置**せず下記の手続きをとってください。

譲渡相手がいる  
はい → 生協第二購買に行く → 防犯登録の再登録 500円がかかります  
いいえ → 第二食堂横の専用スペースへ持って行く → 再利用します

連絡先  
学生支援グループ学生生活チーム  
03-5841-1205 内線 21205  
gakuseiseikatsu@ml.adm.u-tokyo.ac.jp  
場所: 御殿下記念館モール階

参考資料2 4月自転車回収時の保管場所看板



この駐輪場所には、不要自転車以外置かないでください

**不要自転車専用  
一時保管場所**

キャンパス内で不要になった自転車は持ち帰るか知人に譲渡してください。  
譲渡先が見つからない場合はここに置いてください。適切に処分します。

**無断で持ち出すと罰せられます!**

学生支援グループ学生生活チーム  
03-5841-1205 内線21205  
gakuseiseikatsu@ml.adm.u-tokyo.ac.jp  
場所: 御殿下記念館モール階

参考資料3 7月自転車リユース時のポスター

**自転車リユース!!**  
本郷キャンパスの放置自転車をお渡しします

<応募方法>  
自転車希望される方は、氏名・所属・学生証番号(教職員番号)を明記のうえ、reusebicycle@gmail.com に、**7月22日(火)17時まで**にご連絡ください。  
ご連絡いただいた方の中から、抽選で29名に自転車を差し上げます。当選者には別途、集合時間などをお知らせします。

<対象>  
当日、配布場所に来ることのできる学生・教職員

<配布場所・日時>  
○日時 7月25日(金) 12:20-13:00(雨天決行)  
○場所 七徳堂裏

<注意事項>  
・防犯登録手数料(500円)が必要となります  
・大学の駐輪登録を別途行っていただきます  
・パンクなどの修理が必要な自転車があります



東京大学本部交通管理課一ム・環境三四郎  
ご質問などは reusebicycle@gmail.com まで